

住環境分科会

暮らしやすさについて

・暮らしやすいまちづくりにどのようなことが必要だと考えますか

【開発にあわせて交流スペースや商業施設を確保した事例】



暮らしやすいまちづくりに向けて、開発にあわせて、交流スペースや商業施設を確保することができます。

協議会での主なご意見 ～暮らしやすさについて～

- ・身近な場所に、ある程度品揃えのあるスーパーがあるとよい。
- ・大きな病院はあるが、気軽にかかれる内科医が少ない。
- ・小さな子供が遊べる遊具のある公園や、高齢者がゆったりと過ごせるような公園がほしい。

歴史・文化

- ・飯田橋の魅力とは、どのようなものと考えますか
- ・まちの魅力をどのように発信していけばよいと考えますか

【まちの魅力の発信の事例】



町内会、企業、大学、行政による「外堀再生懇談会」では、水辺の再生に関する活動や情報発信を行っています。

（出典）外堀再生懇談会フェイスブック

【歴史・文化資源の状況】

飯田橋駅周辺には筑土八幡神社などの歴史資源、外濠や神田川などの水辺があります。これらの地域資源を生かしたまちづくりが求められています。



（出典）新宿文化絵図

協議会での主なご意見 ～歴史・文化について～

- ・寺社や大名屋敷が多かった歴史を残していきたい。
- ・神田川や外濠の水をきれいにして、水辺に近づける場所を増やしたい。
- ・首都高速を改修する際は、まちに溶け込む塗装とするなど、もう少しきれいにしたい。

お問合せ



二次元バーコード

【飯田橋駅東口周辺地区まちづくり協議会 事務局】

新宿区 都市計画部 景観・まちづくり課 担当：石渡、片野、崎山、五藤
 〒160-8484 新宿区歌舞伎町1丁目4番1号
 電話：03-5273-3843（直通） FAX:03-3209-9227
 新宿区ホームページアドレス：https://www.city.shinjuku.lg.jp/

飯田橋駅東口周辺地区まちづくり 検索

@iidabashi_h 協議会の開催などの告知を行います。情報発信専用とさせていただきます。

第5号

飯田橋駅東口周辺地区



平成30年9月

分科会に分かれて各テーマのまとめを行います！

申込不要
（直接会場へお越しください）

第6回まちづくり協議会のお知らせ



第6回まちづくり協議会を以下のとおり開催します。今回は、まちづくり構想案作成に向けて、3つの分科会に分かれて、各テーマのまとめを行います。これまで参加できなかった方も、お気軽にご参加ください。

日程：平成30年9月20日(木)
18時半～20時半

会場：津久戸小学校 体育館

※スリッパ等をご用意ください。

内容：各テーマのまとめ

駅と周辺分科会

テーマ：飯田橋駅と駅周辺のまちづくり

幹線道路沿道分科会

テーマ：幹線道路沿道のまちづくり

住環境分科会

テーマ：地区内及び周辺の住環境

◎スケジュール 第4～6回協議会は分科会に分かれて検討しています。

平成29年度	平成30年度	次回 9/20
第1回協議会 まちづくり協議会の設立	第2回協議会 現況と課題の共有	第3回協議会 まち歩きと課題の整理
	第4回協議会 駅と周辺分科会 ①駅東口周辺の歩行者・交通動線、②駅東口周辺の環境、③再開発	第5回協議会 幹線道路沿道分科会 ①放射25号線（まち並み）、②放射25号線と新五差路、③大久保通り・目白通り
		第6回協議会 住環境分科会 ①地区内部の道路、②防災、③暮らしやすさ、④歴史・文化
		第7回協議会 まちづくり構想案中間まとめ
		第8回協議会 まちづくり構想案最終まとめ
		まちづくり構想の策定

第5回協議会の内容についてご報告します

第5回まちづくり協議会は、5月29日（火）に津久戸小学校の体育館で開催し、テーマ別に検討を行いました。当日は、52名の方にご参加いただき、それぞれのテーマに沿って意見交換を行いました。



← 第5回協議会の様子

駅と周辺分科会

再開発について

- 再開発を行った場合、改善が期待できるまちの課題は何ですか
- 駅東口周辺の再開発を検討する場合、どのような取り組みが必要と考えますか



【市街地再開発により解決できることは？】

まちの将来像
まちの課題

再
開
発

将来像の実現
課題の解決

公共施設の整備による交通課題の改善、オープンスペースの確保など、個別の建替えではできないまちづくりができます。実現には、地元の皆さんの十分な話し合いが必要です。

協議会での主なご意見



【市街地再開発の事例①】 ～大田区・糎谷駅前地区～



再開発事業に合わせて、駅前広場が新たにつくられました。

【市街地再開発の事例②】 ～飯田橋サクラテラス～



千代田区では、関係権利者、町会、事業者等による検討組織が地域の将来像を取りまとめ、それに基づいた再開発が行われています。

幹線道路沿道分科会

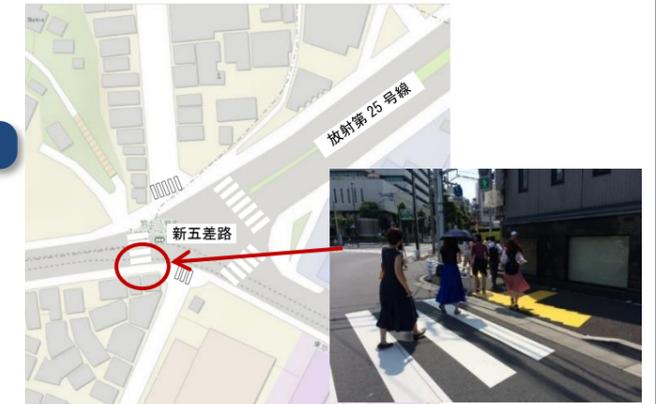
放射第25号線と新五差路について

【新五差路における歩行者たまり空間の状況】

- 誰もが安全に横断できるようにするにはどうしたらよいと考えますか

協議会での主なご意見 ～放射第25号線と新五差路について～

- 新五差路は横断しやすく歩行者に優しい交差点とするべきである。
- 放射第25号線沿道の用途地域を2種住居地域から商業地域に変更したい。
- 放射第25号線沿道の用途地域が変わることで、周辺の住環境が変わることが心配である。



新五差路では、自動車と歩行者の交差が複雑化しています。歩行者のたまり空間も狭い状態です。

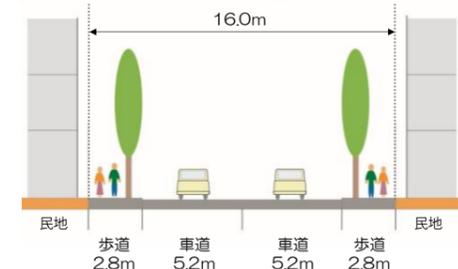
大久保通り・目白通りについて

- 快適な歩行空間を形成するためにはどのような手法が考えられますか

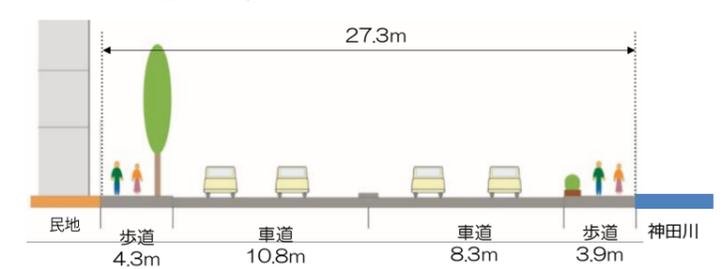
十分な歩行空間が確保されていないため、朝の時間帯は通勤者で混雑します。



【大久保通りの幅員構成】



【目白通りの幅員構成】



協議会での主なご意見 ～大久保通り・目白通りについて～

- 放射第25号線開通に伴い、将来的には、車道を狭めたり、車両通行止めにする等、歩行者優先の通りとしたい。
- 大久保通りの植栽帯を小さくして、歩行空間を広くしたい。また、車線数を減らして歩道拡幅し、荷捌き用に一部歩道を切り欠いたスペースをつくるなどすればよい。
- 目白通り沿いは新しい建物が多く、建替えに伴うセットバックは実現に時間がかかる。
- 五差路で、目白通りに横断歩道を整備し、神田川沿いにも歩行者動線を確保すれば、歩行者が分散するのではないかと。